

**製品名: MEK キナーゼ-6 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13795**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	MAP3K6
別名	MAP3K6; ASK2; MAPKKK6; MEKK6; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 6; Apoptosis signal-regulating kinase 2
遺伝子 ID	9064.0
SwissProt ID	O95382
免疫原	抗血清はヒト MAP3K6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

**背景**

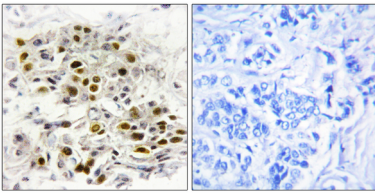
この遺伝子は、タンパク質キナーゼを介したシグナル伝達カスケードの構成要素となるセリン / スレオニンタンパク質キナーゼを

コードしています。コードされているキナーゼは、血管内皮増殖因子 (VEGF) の発現制御に関与しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年7月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素制御: Thr-806 のリン酸化によって活性化されます。MAP3K5 と複合体を形成した場合にのみ触媒活性を発揮します。MAP3K5 は MAP3K6 の安定性と活性状態を維持し、MAP3K6 は MAP3K5 を直接リン酸化することで活性化します。機能: タンパク質キナーゼシグナル伝達カスケードの構成要素。JNK 経路を活性化しますが、ERK 経路や p38 キナーゼ経路は活性化しません。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAP キナーゼキナーゼキナーゼサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。サブユニット: 多分子複合体において上流の活性化因子と下流の基質の両方に結合します。 ,

## 研究分野

SAPK\_JNK; アクチンダイナミクスの制御; 細胞増殖; 幹細胞経路; Cell\_Cycle\_G1S; Cell\_Cycle\_G2M\_DNA; MAPK\_ERK\_Growth; MAPK\_G\_Protein; B 細胞受容体

## 画像データ



MAP3K6 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。